

JR 西日本・JR 九州・佐川急便での貨客混載輸送の検討について

西日本旅客鉄道株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:長谷川 一明、以下「JR 西日本」)、九州旅客鉄道株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:青柳 俊彦、以下「JR 九州」)、佐川急便株式会社(本社:京都府京都市、代表取締役社長:本村 正秀、以下「佐川急便」)は、受託した荷物を山陽・九州新幹線で運ぶ貨客混載輸送の事業化に向けた検討を開始し、今後実証実験等を進めてまいりますので、お知らせいたします。

JR 西日本・JR 九州・佐川急便は、新しい時代に相応しいサービスの実現と社会課題の解決に向け、今後も連携しながら挑戦を続けます。

1. 検討の目的

定時性・速達性・ネットワーク性等の高さを活かした鉄道輸送により、新しい価値の創出を目指します。

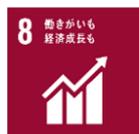
2. 検討中のスキーム

佐川急便の荷物を山陽・九州新幹線の車内販売準備スペースに設置し、輸送します。駅間輸送は、JR 九州区間(鹿児島中央～博多)は JR 九州グループが、JR 西日本区間(博多～新大阪)は JR 西日本グループが請け負います。また、集荷先から駅まで、駅から配達先までの輸送は佐川急便が請け負います。



※博多駅-鹿児島中央駅間の貨客混載輸送は、JR 九州・佐川急便の二社で事業化済み
 ※今後、JR 西日本・佐川急便にて新大阪駅-博多駅間での事業化も検討予定

今回ご案内の取り組みは、SDGs 目標の 8 番、11 番、13 番に貢献するものと考えております。



JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。